

臨床研究部だより - 臨時便 - 2024 年 1 月

「想像してみよう」

2024 年は正月の能登半島地震、翌日の羽田航空機衝突事故と大変な年の始まりです。地震で被災された方へのお見舞いと、亡くなられた海上保安官へのご冥福をお祈り申し上げます。航空機事故はヒューマンエラーや複数の要因が指摘されていますが、海保機が震災支援の任務であったとの報道に心が痛くなります。その中でも日航機の乗客乗員全員脱出には安堵とともに驚かされました。日頃の訓練と意識づけなど組織としての危機管理能力の高さの結果であったと思います。

振り返って当院はどうでしょうか？

年一回防災訓練を行い、消火栓の位置、避難経路など周知されていると思います。病院の職員は航空機の乗員と同じく、患者さんを安全に避難させる責務があります。火災発生時、エレベーターは原則使用禁止となります。南病棟での避難路は、内階段 1 か所と、西側の外階段 1 か所となります。添付写真は南病棟西の外階段周囲の避難場所です。歩けない患者さんも含め入院中の患者さんや職員含め約 200 人が階段下に一時避難する可能性があります。

でも… 階段下には車が駐まっています。

想像してみよう、自身の場所を